

## 開発行為チェックシート（下水道事業計画区域内）

無償譲渡希望  有  無 \*下水道施設の無償譲受要綱に該当する施設

### 【申請書】

2. (1) 種類 下水道施設  
(2) 維持管理者 住所・氏名・電話番号 又は 高松市（汚水施設・雨水施設で異なる場合は明記すること。）  
(3) 協議の内容 開発区域内設置排水施設への意見書交付
4. その他参考事項 利用目的・無償譲渡の意思を記載
- 添付資料  委任状（写）  
添付資料  公共施設管理者同意書（写）

### 【排水平面図】

- 最終樹の種類記載（汚水、雨水、内径、インバート、泥溜め等）  
 宅内排水管の土被りを20cm以上確保する。  
 管保護の記載（土被りが60cm未満かつ車両通行の部分がある場合）  
※マンホール区間の一部でも土被り60cm未満がある場合は、区間の全てにおいて管保護を行うこと。  
 管又は水路が交差する場合、「クリアランスを最低10cm以上を確保する。」と記載  
クリアランスがとれない場合、さや管 or 全巻きの対応とする。  
 取付管がある場合、「本管上での取付管間隔は、1m以上とする。」と記載  
 // 「取付管の勾配は1%以上とし、断面方向の接続位置は本管の中心線より上方とする。」と記載  
 宅内配管が記載されている場合、「開発協議の対象は最終樹から放流先までとする。」と記載  
 TP表示（高さの記載あれば）

### 〔本管有〕

- 最上流部の取付管はマンホール接続  
 既設管にマンホールを割込む場合は、管底高及び位置の記載  
※TP表示で管底高（既設管上下流及び新設管）既設マンホールからの距離  
 「マンホールでの管きょ接続の削孔同士の間隔（残り代）は内面側で10cm以上確保する。」と記載  
 取付管のオフセット（管径・管種・管長・上流マンホール距離・（土被）・（樹深）を記載）  
 既設取付管がある場合は記載、撤去及び閉栓がある場合も記載（原則として本管上で閉栓）
- （雨水）  放流先水路底の高さ及び通常水位の記載  
（雨水）  放流先水路が暗渠の場合、グレーチングの設置

### 【縦断図】

- TP表示  
 勾配は、市が指定する最低勾配（Φ200mmで、硬質塩化ビニル管等 3.0%、ヒューム管等 5.0%など）を確保  
 マンホールでの段差の確保 ※同径の場合、90° ≧ 5cm、45° ≧ 3cm  
 副管の設置 落差60cm以上（原則として内副管）

### 【平面or縦断に記載】

- マンホールの種類 原則1号マンホール（土被りが浅い場合は掃除ますも可）  
 インバート施工の記載  
 マンホール蓋の種類（浮上防止型、高松市型 or 汎用品、T-25（道路幅員5.5m以上） or T-14（道路幅員5.5m未満））  
 本管がVU or PRPの場合、マンホール可とう継手使用の記載  
 本管が重圧管の場合、支管接合の記載

### 【構造図（詳細図）】

- 管布設工（砕石基礎、砂基礎、Co基礎等）  マンホール可とう継手  
 組立1号マンホール（φ900）  取付管  
 掃除樹（φ600）  副管  
 マンホール鉄蓋、調整部施工参考図  最終樹  
（特に、土被りが浅い場合は、二次製品ブロックに構造上の支障等がないことを示すこと。）